



うきうき コドモックル

季刊 第20号

2012年

夏祭り花火大会が開催されました 平成24年7月25日(水)

当日の天気予報は微妙な弱雨マークでしたが、子ども達の期待に押されるように雨雲が去り、湿度の高い夕暮れのもと手稲養護学校グラウンドにて行うことができました。グラウンド中央には紅白の櫓(やぐら)が建てられ、アイスクリーム・くじ引き・射的・ヨーヨー釣りといった手作りの楽しい夜店が並び、センターや地域から集まってくる子ども達を出迎えました。子ども達の可愛い浴衣姿が、お祭りの雰囲気を一層盛り上げてくれます。午後6時過ぎに開会式が始まり、コドモックルなかま会会長の開会宣言、鈴木センター長挨拶、後援会和田会長ご挨拶に続き、元気な掛け声で夏祭り花火大会がスタートしました。

今年コドモックルに入院し治療を受けていた怜香(りょうか)さんをメンバーとした5人組のダンスチーム「フラッパー(F L A P P E R)」がゲスト出演し、ダンスを披露してくれました。



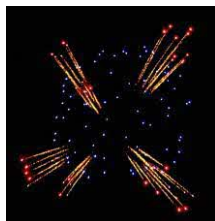
まず心のコもったメッセージ「チームメンバーの怜香は、平成20年から約1年半このコドモックルで入院治療を経験しました。家族と離れての入院生活…その寂しさや、治療の辛さの中怜香をいつも応援し、見守ってくださった、たくさんの方々…素敵な出会いに恵まれて、病室の中でも、いっぱい、いっぱい楽しいことを経験させてもらいました。(略)元気と勇気をくれた、たくさんの方々に「ありがとう!!」「大好き!!」の気持ちを込めて踊ります!!(一部抜粋)」が読み上げられ、

ダンスに続きました。アップテンポの曲にのった激しいダンスに会場からは拍手喝采、「すごいよ」「格好いいね」と声があがっていました。何よりダンスが好きで楽しくて仕方がないという5人の姿が、メッセージ通り私たちに元気と勇気を贈り、笑顔を届けてくれました。

ダンスの後は、盆踊り。櫓の上からゲスト出演榎原(かしはら)さんの歌声が空に響き、娘さんが叩く太鼓の音にも誘われて、次々と子どもや大人が集い、入り交じりながら踊った盆踊りは例年を上回る大盛況となりました。



そして、ラストは花火大会。花火大会は、訓練課スタッフによる仕掛け花火と花火師(後援会協賛)による打ち上げ花火で構成されています。仕掛け花火の連続に子どももおとなも夢中になって見とれ、空に広がった大輪の打ち上げ花火が夏祭り花火大会を見事に締めくくってくれました。



終わりに、行事担当した相談支援課指導係スタッフからの一言を紹介します。

【この「夏祭り花火大会」という毎年続く行事を初めて担当させていただいたこともあり、天候も含め、不安の中でのスタートとなりましたが、センターの子ども達のほか、地域の皆様にも多数来場いただき、その賑やかさに圧倒されながらの進行となりました。

元気溢れる「ダンス」、迫力ある歌声と太鼓による「盆踊り」、お祭り雰囲気盛り上げる「夜店」、夜空を彩る「花火」のほか、司会を担当してくれた子ども達も、緊張の中、立派に務めあげてくれ、本当に多くの方々に作りあげてもらった夏祭り花火大会であったと、つくづく実感しています。準備段階から支えてくれた多くの職員にも心からの感謝で一杯です。

大会が終わり、子ども達の「楽しかった〜」「花火、綺麗だったね〜」という言葉が聞けたのが、何よりでした…。参加していただいた方、協力いただいた職員、本当にありがとうございました。】



循環器病センターの仕事

コドモックルの循環器病センターでは心臓病のお子さんの診断から手術、内科的治療までを一貫した体制で行っています。スタッフは内科医師の横澤、高室、長谷山、和田、外科医師の渡辺、石川、柳清ですが、生理検査技師の萌出、門田や放射線技師の井上、十良澤、さらに麻酔科、小児発達科をはじめとした各診療科の医師や看護師、検査技師や放射線技師、その他の病院職員の協力のもとに運営されています。

循環器病センターの特色は4つあります。

1番目は心臓以外に病気を持つお子さんの治療です。小児科の各診療科に加え、小児外科、脳神経外科、麻酔科、眼科、耳鼻科や整形外科、泌尿器科、形成外科、そしてリハビリ小児科、リハビリ整形外科もあるため、心臓以外に病気を持つお子さんも安心して診療を受けることができます。

2番目は生まれる前からの心臓病の診断と治療です。周産期センターを中心に大学病院や市中病院との協力体制のもと、生まれる前からの心臓病の診断が可能になり、生まれてすぐに処置が必要なお子さんの場合は、当センターで母体管理、出産することが出来るため、お子さんのより適切な管理が可能となりました。

3番目はスタッフの充実です。スタッフの多くは道外の小児循環器専門施設でのトレーニングを受けています。循環器専任の検査技師がいるのも大きな特徴で、心エコーを含めた質の高い検査をタイミング良く行うことが可能です。相談室をはじめコメディカルスタッフも整備されており、ご家族の不安に対して診療以外の面でもサポートが可能です。

そして4番目は高度な小児循環器診療です。内科はほとんどの小児循環器疾患に対応可能で、カテーテル治療にも積極的に取り組み、良好な治療成績を上げています。昨年9月からは東北、北海道で唯一のアンブラッツアー閉塞栓による心房中隔欠損症ならびに動脈管開存症のカテーテル治療の認定施設になりました。外科はノーウッド手術をはじめとした新生児期、乳児期の難手術にも積極的に取り組み、全国的に見ても良好な手術成績を挙げています。まだまだ発展途上の面も多いですが、診療にあたってはあく安全で質の高い、そしてお子さんやご家族に優しい小児循環器医療を実践していくことを目標にしています。センター内ではいつも忙しそうに走り回っていますが（笑）、お気軽に声をかけてください。カテーテル検査、治療は（月）（金）、手術は（月）（水）（金）に行っています。外来診療は（火）（長谷山）、（水）（横澤）、（木）（高室）です。原則として紹介制です。簡単で結構ですのでかかりつけの医師に紹介状を書いてもらい、電話予約してから来院していただければと思います。（小児循環器科 横澤）

〒006-0041 札幌市手稲区金山1条1丁目240番6
北海道立子ども総合医療・療育センター
（コドモックル） Tel. 011-691-5696